

# こどもが健やかに育ち、 いきいきと輝けるまち

地域全体で子育てを支えるという理念を大切に、子育て支援に積極的に取り組む市として、安心してこどもを産み、楽しく育てることができ、全てのこどもがすくすくと成長する環境づくりを目指します。

また、安全に健やかに過ごせる環境の中で、これからの社会の在り方を見据えた特色ある教育を展開し、こどもたちが未来の創り手となるための力を育むことを目指します。



**施策 1** 子育て支援の充実

**施策 2** 乳幼児期の保育・教育の充実

**施策 3** 児童・青少年の育成環境の充実

**施策 4** 世界で活躍できる人間の育成

# 施策 1

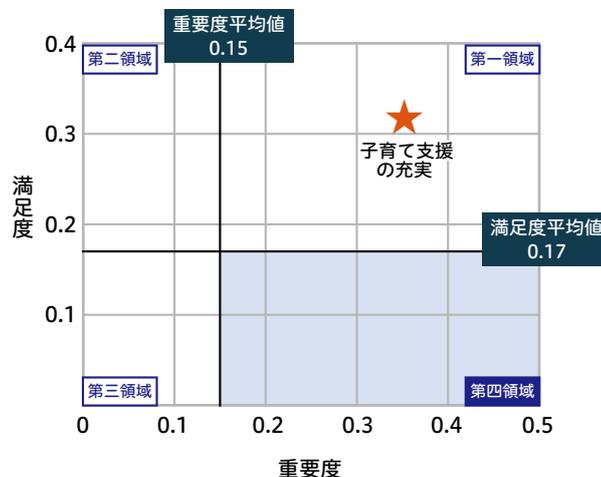
## 子育て支援の充実

### 施策の目的

心理的、経済的な問題により、子どもを産み育てることへの不安を抱えている状況を解消し、戸田市で子育てする全ての家庭が、安心して楽しく子育てができることを実感できる環境を整備します。

### ■ 現況と課題

- 国は、令和5年（2023年）4月にこども家庭庁を発足させ、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指す「こども基本法」が施行されたほか、「こども未来戦略」を打ち出すなど、こども施策を強力に推進しています。
- 戸田市では、若い世代を中心とした転入が多い地域性であることから、これまで地域子育て支援拠点における交流の場づくりや経済的な支援など、子育て支援の充実に努めてきました。
- 令和6年（2024年）3月に「戸田市地域で子育て支援を推進する条例」を施行し、地域全体で子育て支援を推進する気運を高めています。また、令和6年（2024年）4月には、全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへの一体的な相談支援を行う機能を有する「こども家庭センター\*」を本格稼働させるとともに、地域子育て相談機関\*を市内に順次設置するなど、相談機能の強化を図っています。
- 全国的に少子化が加速する中、本市の合計特殊出生率\*も1.04（2023年）と急速に低下しており、結婚や出産を望む人への支援など、少子化対策が急務となっています。
- 心理的、経済的な面に起因する子育て不安やコミュニティの希薄化等による孤立感、こどもの貧困や児童虐待、ヤングケアラー\*など、こどもや子育て世帯を取り巻く環境は刻々と変化し、複雑化しています。家庭における養育力の向上だけでなく、様々な問題を抱える家庭への支援体制の強化や地域全体での子育て支援に対する意識の醸成が課題となっています。





## 取組の方針

### (1) 妊娠から育児まで切れ目ない支援の展開

総合戦略

- 妊娠・出産、産後の母子の心身の健康に係る支援や家庭生活に困難を抱える特定妊婦等を含む当事者が必要としている支援に確実につながることができるよう、切れ目のない支援を展開していきます。
- 市、地域住民などそれぞれが役割を担い、つながり、こどもたちが元気に自分らしく成長することができるよう、地域で一体となって子育てを応援する意識の醸成を図ります。
- 子育てに関する支援を必要とする人に必要な支援が行き届くように、相談しやすい体制を拡充していくとともに、必要な人に必要な情報が提供できるよう、多様な媒体・機会を活用して、こども・子育てに関する情報を提供します。
- 出産を望む人への妊娠・出産に関する正しい知識の普及や支援体制づくりを推進します。

### (2) 児童虐待の防止と対策の強化

総合戦略

- 要保護児童対策地域協議会\*における各関係機関との情報共有及び連携を強化します。
- 児童虐待を未然に防ぐため、こども家庭センターによる母子保健と児童福祉の連携や一体的な相談体制を拡充することで、虐待事案の早期発見と迅速な対応を図ります。

### (3) 経済的な支援と配慮を要する家庭への支援

総合戦略

- こども医療費や児童手当などの各種制度について、効果的に運用します。
- ひとり親家庭など、特に配慮を必要とする家庭に対する経済的支援や就労支援、学習支援などの充実を図ります。
- ヤングケアラーへの支援については、関係機関を通じて周知等を行いながら早期発見や把握に努めつつ、こどもの意向に寄り添いながら、関係機関と連携した支援を行います。

## 施策指標

| 指標名                            | 指標説明  | 当初値   | 目標値     | 備考   |
|--------------------------------|---|-------|---------|--|
| 子育てがしやすいと感じている割合               | 子育てがしやすいと感じている市民の割合                                     | 71.1% | 73.8%   | 【市民意識調査】<br>令和5年度(2023年度)から令和7年度(2025年度)調査までの平均値(年0.55ポイント)を加算                 |
| この地域で、今後も子育てをしていきたいと感じている割合    | 乳幼児健康診査における調査項目「この地域で子育てをしたい」の「そう思う」「どちらかというと思う」と回答した割合 | 96.3% | 97.0%   | 成育医療等基本方針の評価指標に基づく「乳幼児健康診査必須項目」の戸田市直近5か年の最大値96.9%(令和4年度(2022年度))を上回ることを目標として設定 |
| 児童虐待に関わる支援が必要な世帯のうち緊急度の高い世帯の割合 | 要保護児童等の世帯のうち、緊急度の高い世帯の割合                                | 19.7% | 18.0%以下 | こども家庭センター本格稼働前後の平均値18.5%から0.5ポイント減として設定  |

## 関連計画

- 戸田市こども計画

## 施策 2

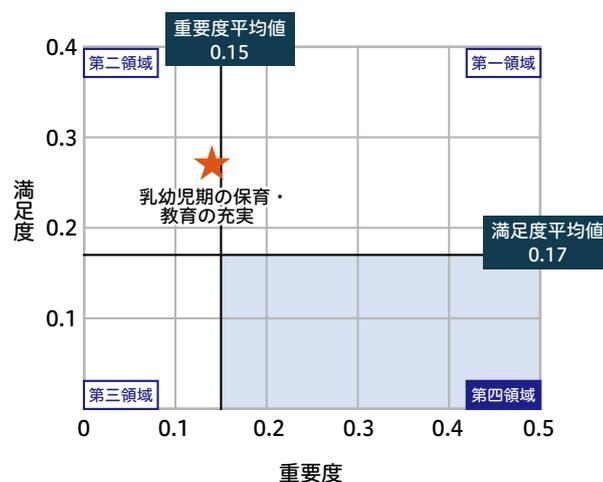
# 乳幼児期の保育・教育の充実

### 施策の目的

市民の多様な保育・教育ニーズに対応するため、必要なサービスの量と質を確保し、環境整備を図ります。また、幼稚園や保育施設、小学校の連携を強化し、子育てに関する切れ目のない支援の充実を図ります。

### ■ 現況と課題

- 全国的に急速に少子化が進行する中、女性就業率の上昇や就労環境の多様化により、保育所の申込率が上昇しています。
- 令和5年（2023年）12月に策定された「こども未来戦略」では、こども誰でも通園制度\*や保育士配置基準の改善、医療的ケア児等の支援体制強化などが示されたことから、本市の環境に合った事業を検討していく必要があります。同時に、特別な支援が必要なこどもの増加や、保育が必要な医療的ケア児の受入体制の拡充などに適切に対応する必要があります。
- 全国的に深刻な保育士不足の中、保育士の処遇改善や労働環境の改善等が求められており、戸田市においても保育士不足は喫緊の課題です。
- 保育士の負担増や保育施設の利用定員減少を招くおそれがあることから、保育人材の確保や定着化、離職防止等を早急に行うとともに、保育の質と魅力の向上を図り、保護者が安心してこどもを預けられ、保育士が安心して働ける保育園づくりを行っていく必要があります。
- 特別支援保育や虐待などによる個々に配慮が必要なこどもが増加しており、こどもの発達や、幼稚園や保育施設から小学校への学びの連続性を踏まえ、こどもの健やかな育ちをつないでいく必要があります。





## 取組の方針

### (1) 安心して利用できる保育サービスの提供

総合戦略

- 保育サービスを必要とする人が安心してこどもを預けることができるよう、保育コンシェルジュ<sup>\*</sup>による相談やニーズに応じた情報を提供します。
- 「こども未来戦略」の各種取組（こども誰でも通園制度等）をはじめ、一時預かりや病児・病後児保育事業などの多様な保育ニーズに対応した事業見直しや展開を行います。また、公立保育園に求められる役割等についても検討していきます。

### (2) 質の高い幼児教育・保育の充実

- 保育士の確保と定着化に関する実効性ある取組を行うとともに、保育士や看護師、栄養士、保育アドバイザーの専門チームによる各保育施設への指導監査や巡回指導、市内合同研修の充実などにより保育士のスキルや保育の安全性・利便性を高めます。
- 公立や民間保育施設、行政の連携により、戸田市全体の保育の質と魅力の向上を図ることで、利用者や保育士に選ばれる保育園づくりを推進します。
- 幼稚園や保育施設から小学校への生活にスムーズに移行できるよう、幼稚園や保育施設、小学校、市教育委員会との連携を強化し、継続的な成長と学びを支える環境を整えます。

### (3) 配慮が必要なこどもへの支援

- 医療的ケアが必要なこどもを含む一人ひとりの育ちを保障し、集団生活を通して相互に豊かな関わりを持てるよう、保育環境の整備や専門的な研修を行います。
- 保育施設や専門機関等と連携し、乳幼児の発達などについて観察、把握を行い、保育士や保護者への支援を行います。

## 施策指標

| 指標名                                 | 指標説明  | 当初値   | 目標値   | 備考                     |
|-------------------------------------|---|-------|-------|------------------------|
| 待機児童数                               | 保育所等の待機児童数（毎年4月1日現在）                        | 18人   | 0人    | 待機児童ゼロを目指す             |
| 研修修得度合                              | 保育施設向け研修会における参加者の修得度合（アンケート結果）              | -     | 85.0% | 過去の類似実績から勘案して設定        |
| 小学校への架け橋期のカリキュラム（アプローチカリキュラム）実施施設割合 | 小学校就学に向けた架け橋期のカリキュラム（アプローチカリキュラム）を実施する施設の割合 | 74.0% | 100%  | 市内全ての保育所、幼稚園における実施を目指す |

## 関連計画

- 戸田市こども計画

# 施策 3

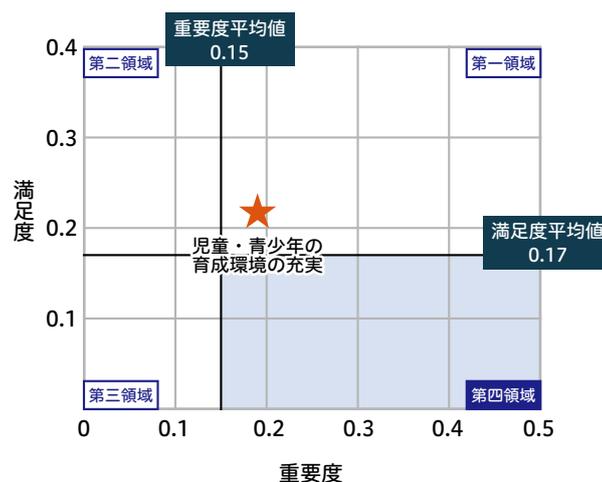
## 児童・青少年の育成環境の充実

### 施策の目的

児童・青少年が心身ともに健全に成長するために、家庭・地域・学校・行政が一体となり、児童・青少年の育成環境の充実や整備を図ります。

### ■ 現況と課題

- 核家族化や共働き家庭の増加等により孤立感が生まれやすい状況にあり、児童・青少年が、心身ともに健やかに育成されるよう、社会や地域全体で見守っていくことが求められています。
- ニーズの高い地域を中心とした学童保育の定員拡大等による待機児童対策を行っていますが、学童保育需要に応じた定員管理や運営手法の見直しが課題となっています。
- 放課後の児童の安全・安心の確保のため、放課後子ども教室<sup>\*</sup>や児童センター<sup>\*</sup>の環境整備を行っていますが、地域や利用者のニーズを的確に捉え、児童が健やかに成長できるよう充実した体制とする必要があります。
- 学童保育室の指導員や青少年の居場所事業、放課後子ども教室におけるボランティアスタッフが慢性的に不足しており、安定した運営を図る上で、担い手の確保が課題となっています。
- スマートフォン等の普及等に伴い、児童・青少年が犯罪やトラブルに巻き込まれるおそれが高まっています。特にインターネットトラブルでは自身が気づかぬうちに加害者や被害者になる危険があることから、児童・青少年を守るため、相談体制の充実と意識啓発が必要となっています。





## 取組の方針

### (1) 放課後の児童が安全に活動できる居場所の確保

総合戦略

- 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所の確保や充実のため、家庭・地域・学校・行政が連携して放課後子ども教室を運営し、開催場所の確保及び内容の拡充を図ります。
- 待機児童が生じる見込みがある場合は、公立学童保育室の増改築や民間学童保育室の誘致など、必要に応じた対策を進め、定員の確保を行います。
- 公立学童保育室は、限られた人員の適正配置とともに、民間事業者への委託や指定管理等の運営手法の導入を検討し、効果的かつ安全な保育の提供を行います。

### (2) 児童・青少年が自主性や社会性、創造性を育める機会の提供

- 児童センターの機能の拡充や計画的な施設修繕、青少年の広場などの運営やニーズに合った事業展開を行い、児童・青少年の多様な活動の機会を提供します。
- インターネットトラブルなど、日頃から身近にあるトラブルや犯罪の目から自分を守るよう地域の団体活動と連携した啓発などを行うほか、行き慣れた場所で悩みを相談できるよう児童センターの相談機能を拡充します。
- 地域で誰もが参加でき、多様な体験学習や異年齢交流の場の機会を提供する青少年団体の活動を支援し、育成支援を図ります。

### (3) 児童との適切な関わりや支援等ができる人材の確保

- 地域や学校などと連携しながら、放課後子ども教室や青少年の居場所で子どもたちを見守るボランティアスタッフの確保に努めるとともに、スタッフ向け研修などの充実にも併せて取り組みます。
- 健全育成の活動をサポートしてくれる地域事業者等の支援者の発掘や育成に努めます。

## 施策指標

| 指標名                           | 指標説明                                    | 当初値     | 目標値     | 備考   |
|-------------------------------|---|---------|---------|--|
| 青少年の育成に関する満足度                 | 豊かな心を育む青少年の育成に満足している市民の割合               | 27.7%   | 33.3%   | 【市民意識調査】令和3年度(2021年度)から令和7年度(2025年度)までの増加率の平均値(年1.12ポイント)を加算 |
| 児童センター及び青少年の居場所の年間延べ利用者数(中高生) | 児童センター(2館)、青少年の居場所(7箇所)における中高生の年間延べ利用者数 | 20,998人 | 22,287人 | 前年比1%増で推計  |
| 放課後子ども教室延べ利用者数                | 放課後子ども教室(全12校)における延べ利用者数                | 6,500人  | 7,176人  | 前年比2%増で推計  |

## 関連計画

- 戸田市子ども計画

# 施策 4

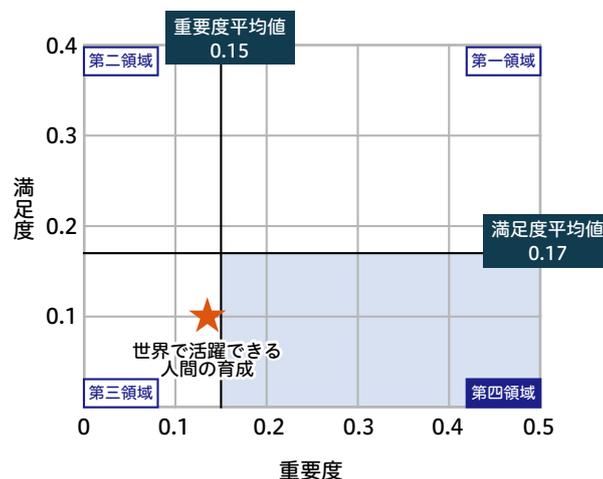
## 世界で活躍できる人間の育成

### 施策の目的

世界で活躍できる人間を育成するため、安心して快適に過ごすことができる学校施設の維持・再編、学校の ICT<sup>\*</sup>環境整備推進、安全な給食の提供など児童生徒にとって好ましい教育環境を整備するとともに、これからの時代を生き抜くための力を身につけさせるように努めます。

### ■ 現況と課題

- GIGA スクール構想<sup>\*</sup>により、児童生徒 1 人 1 台の学習用端末が活用できる環境が整備され、これからの時代を担うこどもたちに必要な資質・能力を身に付けさせるための ICT の強みを生かした個別最適な学びや、仲間とともに学び合う協働的な学びなど、学習の個別化・多様化が進展しています。
- 教科で身につけた力を、実社会で生かし働く力につなげていくために PBL<sup>\*</sup>（課題解決型学習）や STEAM 教育<sup>\*</sup>の視点を取り入れた学びの推進に加え、産官学と連携した学習環境の整備や充実を進めています。
- 不登校の児童生徒の増加や外国人児童生徒の転入に加え、特別な支援を必要としている児童も年々増加しており、こどもの多様性に配慮した支援が求められています。
- 学習指導に加え、多様化・複雑化する学校課題への対応に伴う業務負担が増大しており、教育の質の確保と教職員の働き方改革の両立が求められています。業務の見直しや ICT を活用した校務の効率化を図るとともに、教職員が本来の教育活動に注力できるための教育 DX<sup>\*</sup>（デジタルトランスフォーメーション）の推進が重要です。
- より良い学校運営のためには、地域の協力が不可欠であり、学校運営協議会<sup>\*</sup>のより深い学校理解と積極的な学校運営参画が重要であり、学校応援団<sup>\*</sup>の活動も地域連携には不可欠な存在となっています。
- 学校施設の長寿命化を図っていくため、設備や外壁などは計画的に更新するとともに、建物健全度が低く、老朽化した施設については建替えが必要となります。また、児童生徒をはじめとする学校関係者が安心して活動できる安全な環境の整備が求められています。





## 取組の方針

### (1) 課題解決型学習（戸田型 PBL）の更なる推進

総合戦略

- PBL（課題解決型学習）や STEAM 教育をより一層推進し、児童生徒の知的探求心や好奇心を育み、学びを広げ深めるための環境の整備と充実のため、児童生徒が自由な発想で学びに向き合える創造的な学習空間を整備します。
- 学びの更なる質的向上を図るため、産官学連携による共同研究や連携事業を進め、企業や国の機関、大学などが有する最先端の知見や技術を教育現場に取り入れることで、児童生徒一人ひとりの主体的な学びや深い学びを実現していきます。

### (2) 地域との協働を通じた学校運営の推進

総合戦略

- 学校運営協議会に、地域住民の積極的な参画とともに、産官学連携の関係者などの多様な方の参画を推進することで、熟議の活性化や新たな連携の創出につなげます。
- 活動形態の幅を拡張するなど学校と地域の協働関係を更に深化させ、地域住民が学校運営に主体的に参画し、学校を地域活性化の中核とする地域づくり（スクール・コミュニティ）を推進します。

### (3) 多様な学びの場と教育環境の充実

総合戦略

- 「誰一人取り残されない」教育の実現に向けた、多様な学びに対応するための環境の充実や小中学校のサポートルームをはじめとする支援体制の強化を図ります。
- 教育総合データベースを活用し、児童生徒等の様々な課題を早期に発見し、一人ひとりの状況に応じた支援を的確に行うため、教育相談体制の充実を目指します。
- 学びの進化を支えるため、テクノロジーの最新動向を常に注視し、新たな学びの創造に資する ICT 環境の整備を推進し、STEAM 教育の一層の向上を図ります。
- 質の高い教育を確保するため、教職員の資質・能力の向上を図る研修等の充実を図るとともに、働き方改革を推進します。
- 学校施設の建替えや設備などの更新に当たっては、児童生徒をはじめとする学校関係者が安心できる環境を創出するため、防犯対策の強化や時代の変化に対応した施設整備の観点を取り入れ、学校環境の向上を図ります。

## 施策指標

| 指標名                            | 指標説明              | 当初値                | 目標値                | 備考  |
|--------------------------------|-------------------|--------------------|--------------------|---|
| 自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う割合 | 授業がわかる調査の回答割合     | 小：85.0%<br>中：84.9% | 小：90.0%<br>中：90.0% | 【全国学力・学習状況調査】令和12年（2030年）時点の90%達成に向け増加幅を平準化 |
| 中学校3年生の英検3級以上の取得率              | 中学校3年生の英検3級以上の取得率 | 58.4%              | 70.0%              | 平成27年（2015年）第11回教育委員会定例会で設定した数値目標           |
| 市立小中学校大規模改修や改築等の達成率            | 小中学校の工事の年次割合      | —                  | 100%               | 戸田市公共施設マネジメントアクションプランに基づく進捗率                |

## 関連計画

- 第5次戸田市教育振興計画
- 戸田市公共施設等総合管理計画